

令和5年度 学校目標評価（中間報告）

領域	対象	具体的な目標	目標達成のための行動計画・方策など	中間評価	計画の実施・評価の担当者・評価の方法他	目標達成のための取り組みの状況
教育活動	生活指導	規律ある生活のリズムをつくる	<p>学習を中心とした生活リズムの確立（部活動・生徒会活動の時間の適正化）</p> <p>あいさつの定着</p> <p>清掃・保健・交通安全指導</p>	3.5	<p>生徒部・保健部</p> <p>進路指導部</p> <p>学年・教科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とんぼ祭準備期間には、生徒の健康および教員の働き方改革を考え、とんぼ祭準備のための合宿は行わないことにした。また、極端な時間の居残りはせず、生活リズムを崩さないように準備を進めた。（生徒会） ・研修旅行にあたっての健康管理を指導した。（2学年） ・機会あるごとに、自転車事故・声かけ・器物損壊・あいさつについて、注意を呼び掛けている。（生徒部） ・4月に「交通安全講和」、5月に「性被害防止・情報教育モラル講話」を行い生徒への注意喚起を行った。（1学年） ・本校の自転車ヘルメット着用率が高いことにより、大きな事故に繋がっていないことは、とても良いことである。（生徒部） ・校内の清掃場所の割り振り、ゴミ当番、ワックスがけ、などの清掃活動の計画と実施をしている。（保健部） ・食中毒などの話題から、各種感染対策他について授業内容に取り入れた。（家庭科） ・心身の健康の保持増進を目的の一つにした授業を行っている。（体育科）
		適切な個人指導及びカウンセリング体制を充実させる	<p>教科担任・HR担任・クラブ顧問の連携</p> <p>スクールカウンセラーとの連携、きめ細やかな生徒相談の実施</p> <p>保護者との懇談の実施</p>	4.0	<p>保健部</p> <p>教育サポート委員会</p> <p>学年・教科他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健部・各学年と連携し、支援の必要な生徒の把握・情報共有を行っている。（サポート委員会） ・カウンセリングの利用者が幅広くなってきている。アセスの結果の利用を検討中。（保健部） ・5月と9月にアセスを行い、個人指導に生かすことができた。（1学年） ・担任面談を実施するとともに、必要な生徒とスクールカウンセラーをつなぐことができた。（各学年） ・定期的にサポート委員会を行うのみでなく、必要に応じて連絡・確認を行い、支援を必要とする生徒へのサポートがスムーズに進むよう努めている。（サポート委員会） ・関係部署を繋ぐ役割を大切に考え活動している。（サポート委員会） ・要望に応じて対応をしている。（体育科）